

BEGIN
(出会い)

第15期 次世代リーダー育成セミナー

元地区ガバナー：正岡 章（まさおか あきら）



DISTRICT 335-B

出会いの深さ	人数の目安	内容
何らかの接点を持つ人	約30,000人	挨拶やすれ違いなど、軽い接触を含む
近い関係になる人	約3,000人	学校や職場などで継続的に関わる
親しい会話ができる人	約300人	心を開いて話せる関係
友達と呼べる人	約30人	定期的に交流し、信頼関係がある
親友と呼べる人	約3人	深い絆で結ばれた特別な存在

一生で出会う人の目安（人生80年として）

一生に30,000人に出会うとして
地球上（約80億人）で人と人が出会う確率は、
ざっくり計算すると **0.0004%**。

日本国内に限定しても **0.03%** ほどだそうです。
つまり、今あなたの周りには、確率的には奇跡のような存在です。

今日の出会いは奇跡

出会いの意味

人生を彩る交差点

出会いとは、
ただ人とすれ違うことではありません。

それは、自分の価値観が揺さぶられ、
視野が広がり、時に人生の方向すら変える
「交差点」のようなもの。

誰かとの出会いが、自分の中に眠っていた
可能性を目覚めさせることもあります。

出会いの大切さ

心を育てる栄養

人とのつながりは、
喜びや悲しみを分かち合うことで、
心に深みを与えてくれます。

孤独な時に寄り添ってくれる人、
夢を語り合える仲間、
何気ない日常を笑い合える友人。

そうした出会いが、
私たちの人生を豊かにし、
支えとなってくれるのです。

良い出会いの確率を 上げる方法

扉を開く勇氣。
出会いは待つものでは
なく、迎えに行くもの。

- **自分から話しかける勇氣を持つ**
→「こんにちは！」「初めまして！」
挨拶やちょっとした会話が、思わぬ縁につながることも。
- **新しい場所に足を運ぶ**
→ イベント、ボランティア、趣味の集まりなど、
未知の世界に飛び込むことで出会いの幅が広がる。
- **自分の価値観をオープンにする**
→ 本音で語ることで、深いつながりが生まれる。
- **失敗を恐れない**
→ すべての出会いがうまくいくわけではない。
でもその経験が、次の出会いの質を高めてくれる。

私がライオンズクラブに入会した理由

-友達作り-



なぜライオンズクラブを続けられたか

1. 出会いと交流が生む絆

- ライオンズクラブに入会して最初に感じたのは、多様な人生経験を持つ仲間たちとの出会いでした。
- 世代を超え、職業を超え、それぞれが地域社会に対する熱い想いを抱いています。そんな仲間たちと定期的に顔を合わせ、語り合い、時には笑い合う時間は、私にとってかけがえのない宝物です。
- このような交流を通じて、互いに刺激を受けながら、新たなアイデアや価値観が生まれてくる。奉仕活動がもたらすものは、社会への貢献だけでなく、人と人との温かいつながりでもあるのです。

2. 奉仕の楽しさ

- 奉仕活動というと、どこか“義務感”や“重み”を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、ライオンズクラブでの奉仕は違います。
- 例えば、地域のこどもたちと触れ合うイベントでは、純粋な笑顔に元気をもらい、高齢者施設での交流では、温かな言葉に胸を打たれます。
- 奉仕とは、誰かのために行動することによって、実は自分自身の心も豊かになっていくものなのです。
- “ありがとう”の一言や、困っていた人が笑顔になる瞬間。それこそが奉仕の「ご褒美」であり、「楽しさ」なのではないかと、私は思います。

小さなチャレンジ

20XX



自分に問いかけてみる

- 「自分が本当にやりたいことって何？」
- 「今、心が動いた瞬間はいつだった？」



書き出してみる

ノートに書き出すだけで、ふと新しい視点が見えてくることもあります。



人との対話

自分ひとりでは気付けなかった考えも、誰かとの会話がきっかけになります。



自分の可能性に気付く

ライオンズクラブのような交流の場では、他者の情熱や価値観が刺激となり、自分の可能性に気付くことがあります。



新しい挑戦

ちょっとした役割を引き受けたり、初めての企画に携わったり、未知のことに足を踏み入れると、「意外と自分、こんなこともできるんだ」と発見があるものです。



過去を振り返る

これまでの成功や失敗を振り返ることで、得意なことや情熱を感じる瞬間を再認識できます。そして「もう一度あの感覚を味わいたい」という気持ちが、次の一歩になります。

がっかりした時

自分にできること

1. 感情をそのまま受け止める

「悲しい」「悔しい」「期待してたのに…」——その気持ちにフタをせず、自分に優しく「それはつらかったね」と声をかけてあげるだけでも、心が少し緩みます。

2. 何にがっかりしたのか整理してみる

漠然とした感情も、言葉にすると見えてくるものがあります。

- ・どんな期待があったのか？
- ・何が自分を傷つけたのか？

それが分かると、「次はこうしてみよう」と前に進むヒントになります。

3. 信頼できる人に話してみる

気持ちを誰かに話すだけで、意外と心が軽くなることがあります。

ライオンズクラブの仲間のような存在がいたら、一人で抱え込まなくて済むのも大きな支えですね。

4. がっかりを“成長のタネ”に変える

うまくいかなかったことも、「次に活かせる経験だった」と振り返れるようになると、自分の軸がしっかりしてきます。

がっかりの中には、「もっと良くなれる」ヒントが隠されていることが多いんです

奉仕が教えてくれる “幸せのかたち”

人を想う心

奉仕活動は、誰かのために手を差し伸べる
「人を想う心」を「行動」に移したものです。

ですが、実際に行動すると、それが自分自身の心も満たしてくれるという不思議な感覚に気づきます。

奉仕とは、自分と向き合う旅でもあります。
人の役に立つことで、自分の可能性に気づき、
自分自身を好きになっていく。
それは、私にとってかけがえのない学びでした。

ライオンズクラブの活動は、ただ奉仕するだけではありません。
それは「出会い」を通じて、自分自身を磨き、仲間と共に成長していく旅です。

私たちが出会う人の数は限られています。
でも、その一人ひとりとの出会いが、人生を変える力を持っています。
あなたがこれから出会う人の中には、あなたの情熱に火を灯す人がいるかもしれません。
あなたの言葉に救われる人がいるかもしれません。
そして、あなたの背中を見て、未来のリーダーが育っていくかもしれません。

出会いは偶然ではなく、行動と心のあり方が引き寄せるものです。
どうか、目の前の人に心を開いてください。
その一歩が、クラブの未来を照らす光になります。
あなたの声が、あなたの想いが、次の時代をつくっていきます。

迷ったときは、出会った仲間の顔を思い出してください。
支え合い、励まし合いながら進む道こそ、ライオンズの道です。
あなたの歩みを、心から応援しています。
そして、これからの出会いが、あなた自身をさらに輝かせてくれることを願っています。

共に、未来を築いていきましょう。

2025



ご清聴ありがとうございました

元地区ガバナー：正岡 章（まさおか あきら）
吹田江坂ライオンズクラブ

